




# アリムタ+キイトルーダの治療をお受けになる方へ

## ★治療スケジュール

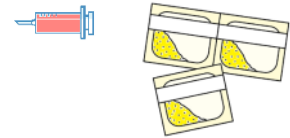
症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～21日目
キイトルーダ (パムブロリスマブ)	 30分	お休み
吐き気止め	 30分	お休み
アリムタ (ペメトレキセド)	 10分	お休み

【副作用軽減のために使用するお薬】

ビタミンB<sub>12</sub>注：初回投与7日前に投与をします。

葉酸（パンピタン）：初回投与7日以上前より服用を開始します。



★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

### 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

### 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

### 甲状腺機能低下

甲状腺の働きが低下することがあります。甲状腺の働きが低下すると、元気が出ない、疲れやすい、声がかすれる、肌の乾燥といった症状が現れることがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、甲状腺の働きを確認します。



## 肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

### 〈ご自身でわかる副作用〉

#### 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

#### 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくるともあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

#### 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

#### 皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

#### 味覚障害

### ★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「激しい口渇」、「多尿」、「尋常ではない倦怠感」、「悪心・嘔吐・腹痛」が見られた場合は、病院への連絡が必要です。(糖尿病)
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」(敗血症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

#### ●緊急連絡先●

横須賀共済病院（代表）：046-822-2710

月～金曜日の8：30～17：15は「治療を受けた診療科」  
それ以外の曜日、時間帯は「急患室」にご連絡ください。